

東アジア文化都市2014横浜 「スマートイルミネーション横浜2014」 アートプログラムを発表！ ～日中韓の作家が集い、アートプログラムを実施～



「スマートイルミネーション横浜」は、横浜都心臨海部を舞台に、LED照明や太陽光発電などの省エネルギー技術と、アーティストの創造性を融合させ、新たな夜景の創造を試みるアートイベントで、2011年から始まり、今年で4回目の開催となります。

平成26年10月30日（木）から11月3日（月・祝）の5日間にわたり、象の鼻パークを中心とした横浜都心臨海部で開催します。

今年も、東アジア文化都市2014横浜事業として、東アジアからの招待作家や東アジアの作家と日本人作家によるコラボレーションを展開します。

1. 「スマートイルミネーション横浜2014」 主なアートプログラム

（1）東アジアの作家と日本人作家によるコラボレーション作品展開

■キム・ジェドク「Grand field」（振付：キム・ジェドク 出演：キム・ジェドク、ハン・テジュン 照明デザイン：藤本隆行(Kinsei R&D) 舞台監督：栗津一郎 音響：WHITELIGHT)



(作品イメージ)

韓国コンテンポラリーダンスの新世代を代表する振付家・ダンサー、キム・ジェドクがソーラートラックの極小空間を起点とした新作デュオ公演を発表。公演後には、作品の照明デザインを担当した藤本隆行による、LEDライトインスタレーション「音波-光 AMP」も展示されます。

（2）東アジアの作家による作品展開

■FLOW（ジン・シヨン）



色とりどりのLEDチューブが、複雑に交差しながら、光の流れを生み出し、人々のコミュニケーションや思考を共有する様を表現します。

(作品イメージ)

裏面あり

(3) 日本人作家による作品展開

■moving projection theater「たてもののおしばい」(高橋匡太+柴幸男)



(作品イメージ)

本作品はムービングプロジェクターを駆使した野外劇です。

役者達は象の鼻パークを取り囲む5棟のビルです。

普段は動く事も話す事も出来ない建物がアーティストによって個性を与えられ対話を始める時、見慣れた風景は素敵な物語を紡ぎ出します。

(スマートイルミネーション横浜2014の参加予定アーティスト)

イ・ジェミン、栄暁佳、キム・ジェドク、小山田徹、呉鴻、柴幸男、島田正道(GwaGwa)、ジン・シヨン、高橋匡太、チャン・ウソク、ハン・ジンス、パク・ジヒョン、藤本隆行、リ・ヒョンジュ、リ・プリンス(敬称略、五十音順)

2. FutureCity Yokohama スマートイルミネーション・アワード2014

LEDや有機ELなど、環境共生型の照明技術の新たな活用方を発見、創造する機会とするとともに、アーティストの創造性を活かした環境未来都市^(※)の推進に取り組む横浜の特色を活かした「FutureCity Yokohama スマートイルミネーション・アワード2014」を開催します。

今年度の応募総数は、海外からの応募も含む36組(39作品)と昨年の8組(8作品)から大幅に増えました。その中から一次審査を通過した16作品が、象の鼻パーク及びパシフィコ横浜エリアに展示されます。期間中、審査員による二次審査を行い、最優秀作品を選出します。

3. 市内に広がるスマートイルミネーション



鶴見区では、およそ100年にわたり、鶴見の地で禅文化を発信し続ける大本山總持寺を舞台に、「千の光を灯す夜」をテーマに開催。



緑区で3回目の開催となる今年は、イベント全体を、里山を体験する「学校」にみたてたプログラムを展開。新治里山公園がやさしい光に包まれる。

〈金沢区〉

日程：10月4日(土) ※雨天時は翌日へ順延
会場：金沢八景駅周辺

〈鶴見区〉

日程：10月24日(金)、25日(土)
会場：大本山總持寺

〈緑区〉

日程：11月7日(金)～9日(日)
会場：十日市場駅前～新治里山公園

〈泉区〉

日程：11月16日(日)
会場：地蔵原の水辺(いずみ中央駅前)

●環境未来都市とは

環境問題や超高齢化への対応などの様々な社会的課題に総合的に取り組んで活力ある都市をつくる、国家的なプロジェクトのひとつです。横浜市は、平成23年12月、国から「環境未来都市」に選定されました。



お問合せ先

文化観光局創造都市推進課創造まちづくり担当課長 清田伯人 Tel 045-671-3425

【報道関係の皆様からのお問合せ先】

株式会社サニーサイドアップ 担当：金(kim@ssu.co.jp)、服部(mhattori@ssu.co.jp)、蛭川
TEL : 03-6894-3200 / FAX : 03-5413-3050